

誰でもできるマイ容器チャレンジ！
八王子から促進するプラスチックスマート
MY COUNTER CHALLENGE that anyone can do !
Plastic smart promoted from Hachioji

グループ名：紫陽花 (hydrangea)

田尾ゆふ、佐々木優、武内正美、若松美沙

水元 昇

創価女子短期大学 国際ビジネス学科 水元ゼミナール

キーワード マイ容器、環境問題、プラスチック削減

1. はじめに

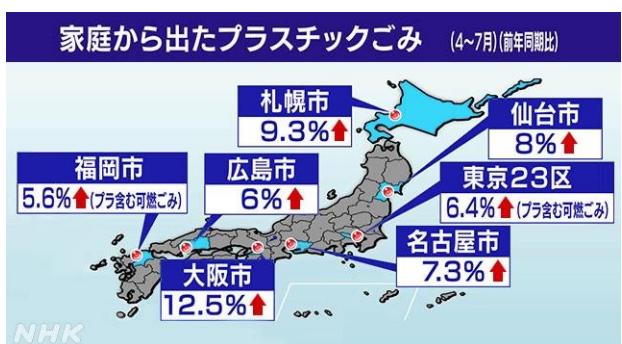
私たちは八王子市がゴミ量の少なさ 2年連続全国1位（八王子市公式ホームページより）という点から、ゴミ問題など環境分野に着目し、研究を行っている。ゴミの中でも、特にプラスチックを対象に世界で起っている環境問題を調べ、啓発ポスターを作成した。そして、解決策の提案を行いたい。

2. 現状

1950年から約65年間で製造されたプラスチック総量は78億トンであるにも関わらず、世界的に見てリサイクルされているのは、わずか14%というのが現状である。また、プラスチックゴミが海に流れ海洋プラスチックとなり2050年には魚の量を超えると言われている。マイクロプラスチックは私たちが口にする魚や塩、飲料水からも検出され人体への影響も懸念されている。さらに、新型コロナウイルス感染症に伴い、テイクアウトが増加したことにより、過剰なプラスチック包装が増えたことで、プラスチックゴミが増加している。

これらのプラスチック問題は早期解決しなければならない全世界の課題である。

「Single-use plastics: A roadmap for sustainability」（国連環境計画、2018年）



3. 企画内容

私たちはプラスチックごみ問題の現状、また新型コロナウイルスで増加しているテイクアウトで出るプラスチックごみに注目し、以下の4つのポスターを制作した。

(図1)(図2)のポスターはSDGs12、13番、15番の4つに着目し、海にプラスチックごみが漂っている現状を知ってもらうことを目的に制作した。

(図3)(図4)のポスターでは、八王子市内のテイクアウトを実施しているお店に焦点を当てた、マイ容器を推進する内容となっている。

今後の活動として、これら4つのポスターを用いて、テイクアウトを取り扱う八王子市内のお店に3週間の期限付きでポスターを貼ってもらえるかの交渉、またポスターを貼ったことでの効果や意識の変化が起きたかなどを販売者・消費者側にアンケート調査を行なっていくことを考えている。

4. 得られる効果

本提案を通して得られる効果としては2つある。まず一つ目に、環境問題の現状を伝えるポスターを店舗に掲示することで、消費者と販売者の双方から環境問題についての意識を高めることができる点である。2つ目に、近年飲食店でのテイクアウトが主流になりつつあるため、テイクアウトがより便利になるという点である。マイ容器は保温機能があるものもあり、使い捨て容器にはない利点がある。そこでマイ容器を推進するポスターを掲示することで、普段テイクアウトをしない顧客にもマイ容器を利用するきっかけをつくることができる。

5. 課題

今後の課題として、八王子市内のテイクアウトを取り扱う飲食店にポスターを実際に貼ってもらえるか、ポスターを貼ることで得られる効果やメリットを明確にし、伝えていく必要がある。また、実際にマイ容器を推進している京都府亀岡市の事例を調べ、実際に先行事例であるお店を訪ね、お話を伺うなどしてチームでの企画実行を明確にしていく必要がある。

6. まとめ

早期解決しなければならない、この環境問題について、ポスターを通して多くの方に現状を知ってもらい、行動に移すきっかけになって欲しいと願う。

ゴミ量の少なさ2年連続全国1位という八王子市民の意識の高さを生かし、市全体でプラスチックスマートを促進していきたい。

8. 参考文献

・環境省 最新のごみ排出の調査結果

<https://www.env.go.jp/press/files/jp/press/1dtgw29.pdf>

・プラスチック資源循環戦略

<https://www.env.go.jp/press/files/jp/111747.pdf>

・亀岡市ホームページ

<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/kankyousamu/plasticzero.html>

↓展示作品

(図1)



(図2)



(図3)



(図4)

